

# ミッドワイフトーク

ホーム  
ページ版  
Vol.8

## 助産師だより

平成30年3月 第19号  
公益社団法人栃木県看護協会  
宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森4F  
TEL 028-625-6141  
発行責任者 渡邊 カヨ子

ごあいさつ

助産師職能委員長 佐藤 君江

会員の皆様、そして栃木県の助産師の皆様、栃木県の周産期医療にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。また、栃木県看護協会の活動にご協力いただきまして感謝申し上げます。助産師職能委員会は栃木県の周産期医療の向上や助産師の皆様が活躍できますよう意見集約や課題発見に努めております。情報共有の場としてホームページを作成し、活動報告や施設紹介など閲覧できるようにしております。2018年CLoCMipレベルⅢの申請スケジュールが公表されました。助産師の皆様、ふるって申請いたしましょう！

皆様が生き生きと働けるお手伝いができますよう今後も活動してまいります。

### 掲載記事募集中!

栃木県看護協会ホームページから  
助産師職能委員会宛にお送りください。  
<http://www.t-kango.or.jp/>

### 委員会活動



#### 看護大会

H29.5.13

ハンドマッサージを行い、たくさんの方が参加して下さいました。





### 新人助産師研修

H29.9.8 ハンドケア 23名

H30.1.19 乳房ケア、  
母乳育児支援 20名

技術の習得および新人同士の交流を深めることができました。



### ヒューマンフェスタ

H29.11.11 390名

「人権・やさしさ・命の大切さ」をテーマに開催されました。お子さんを連れた家族が多く来場され、産声と胎児心音に耳を傾けたり、妊婦疑似体験をしました。



### 施設助産師交流会

H30.1.19 12名

県内の産科施設の助産師、地区支部助産師が集まり、周産期の災害看護を学び、「災害時のネットワークを考える」をテーマに、県内の課題について話し合いました。



## 施設紹介

### 自治医科大学附属病院

## 院内助産所 La vie (ラ・ヴィ)

自治医科大学附属病院内院内助産所ラ・ヴィは平成23年3月に開設しました。平成29年9月までに131人の赤ちゃんがラ・ヴィで産声をあげました。ラ・ヴィは、家にいるような感覚で過ごせるアットホームなお産と、最先端の医療を提供できる大学病院でのお産の両方の良いところを提供できる施設です。7人の助産師がラ・ヴィを担当し、妊娠中から産後までをその人らしいお産や育児ができるよう一緒に考え、支援しています。妊婦健診では、一人ひとり時間をかけ、その人の思いを引き出し、お産に向けた体と心づくりができるよう力を入れています。



最近では2人目3人目もラ・ヴィを選んでくれる方が増え、少したくましくなったお母さんの姿や、ラ・ヴィで生まれたお兄ちゃんお姉ちゃんの成長を見ることができるのも楽しみの一つになりました。

これからも産む力を最大限に発揮し、安全な妊娠・出産・産後を過ごせるよう、お母さんたちに寄り添っていきたいと思います。



# 主役はお母さんと赤ちゃんです こうのとりの助産院

山田陽子



お母さんがもつ「産む力」「育てる力」と、赤ちゃんがもつ「生まれる力」「育つ力」を最大限に引き出し、お母さんと赤ちゃんが主役になるお産をめざし、今年6月にこうのとりの助産院を大田原市に開業しました。こうのとりは幸せを運んでくれる鳥なので、それにあやかって命名しました。

連携医療機関の那須赤十字病院から1.6kmの距離で、静かな住宅街の中に建っています。お産のできる部屋は、ピンク色が基調の洋室と、畳がしいてある落ち着いた雰囲気のとこ室と二つあります。

入院中のお食事は、産後のお母さんの身体の回復や授乳のために、旬のお野菜を中心にした、体と心を整える薬膳をご用意しております。

またセラピストによるアロママッサージのサービスもあり産後の癒しのケアにも力をいれています。

マタニティヨガ・産後ヨガを定期的で開催しており、妊婦さんや産後のママたちの集まれる場所にもなっています。今後はベビーマッサージや離乳食教室も開催していく予定です。母乳栄養も推進しており、産後のおっぱいのトラブルの対応もしています。安心・安全なお産を提供し、お母さんと赤ちゃんの憩いの場になりたいです。

